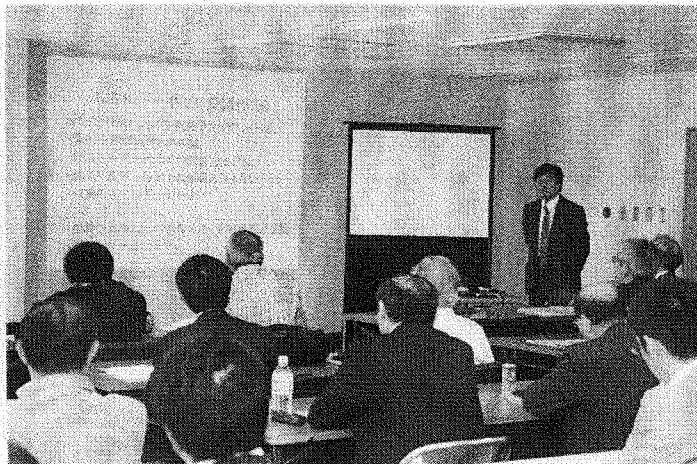


美唄でのバイオ燃料の可能性についてさまざまな報告がされたセミナー



空知団地からバイオ燃料を

専門家が講演 原料栽培の利点強調

【美唄】環境に優しい新エネルギーのバイオ燃料を研究する開発技術学会(会長・浦田秀次郎早稲田大教授)は4日、市内茶志内の空知団地(工業団地)での、原料となる作物の栽培の可能性を探るセミナーを、美唄ハイテクセンターで開いた。(米山貴志)

バイオ燃料は植物から抽出した油脂や発酵によるアルコールなどを燃料とする。セミナーでは、同学会BME分科会事務局で農業研究開発会社「フィールドテクノロジ」研究

室(札幌)の金木裕一主任研究員が講演し、同学会が同団地内の2カ所を試験栽培している事例を紹介し、「バイオ燃料を農業機械に利用すると、農業者の経済的負担も軽くなる。黄色い花は景観が良く心に耳を傾けていた。」と説明。